

山行報告書

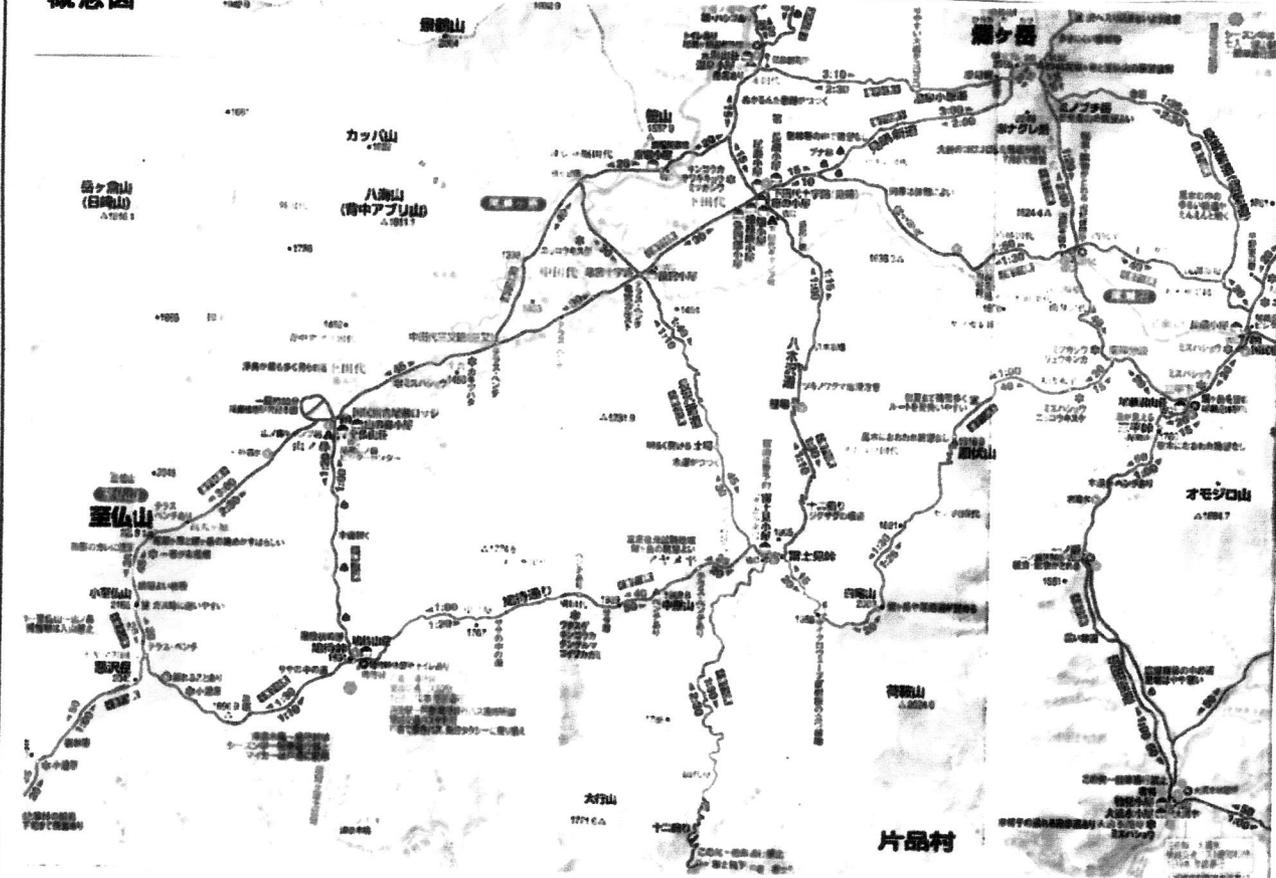
報告書作成

2005年5月10日

山名 [山域]	燧岳～尾瀬ヶ原～至仏山 縦走	目的と方法	残雪期尾瀬と燧岳・至仏山登頂
登山期間	2005/5/3～5	山行形態	2泊 3日・縦走
参加人数	1名		

行動記録 5月3日 300==戸倉タシ==大清水1030・1040---の瀬休憩所1140--三平峠1310--尾瀬沼1330--長蔵小屋1400TS1
 05年5月4日 TS1 500--沼山峠610--長英新道合流720--燧岳頂上1015--見晴(下田代十字路)--至仏山荘1510 TS2
 05年5月5日 TS2 645--至仏山頂940--鳩待峠1117===岡崎2130

概念図



日誌 05年5月3日 ここ数年来温めていた計画がやっと現実のものとなった、サー出発・戸倉から鳩待峠に向かう人が(スキーの人が多数)ここからタシで大清水へ(この時期ここまで車侵入可)・大清水は水芭蕉の小公園が観光客で賑わっていた。ここから今日の目的コースに入る、天気快晴、準冬装備で残雪を見ながら三平峠・尾瀬沼へ向かう、順調に着いた尾瀬沼は、真正面に燧岳の全貌を現し、一部雪解を見るものの全て残雪に覆われ予期していた以上の感動を覚えた。まもなくTS1長蔵小屋着、尾瀬の小屋は、ほとんど完全予約制になっているようだ。05年5月4日長英新道から沼田街道に寄り道沼田峠の眺望を期待したが、よゆうと思ったがこれは無駄なことだった。すぐに長英新道にとりかえし、トレースに乗って燧岳・旭嶺へ向かう頂上間近 這松・岩肌が現れ、急登をいそぐ、頂上で一休みして柴安嶺へ残雪の急登は、今回最大の難所、無事頂上へ、ここからの尾瀬ヶ原～至仏山の全景大パノラマは、この時期期待以上実感。・・・見晴へ下り、残雪で覆い尽された尾瀬ヶ原を真っ直ぐに至仏山に向かう、途中一部橋が流失していたが、なんとか通過する事ができた。至仏山装TS2。 05年5月5日晴れ 雪の至仏山は、小屋からほとんど直登、アイゼンを締めなおして、3時間の登り、頂上は鳩待からのスキーヤーで結構賑やか、その道をルンルン鳩待に向かう。

感想 山麓に 利休白茶の 寂びありて 残雪残し 尾瀬道入る
 天候に恵まれて、楽しい山行でした。この時期多くのスキーヤーが入る登山道のトレースは、迷い道も多く気お付けなくては行けない。地図をよく見て、ルートを正確につかんで行く事が単独登山の基本とおもいました。